*2023年02月（第2版）
2021年01月（第1版）

認証番号：20300BZZ01009000

歯科材料03　義歯床材料
管理医療機器　義歯床用硬質裏装材　17609000

リバース

【禁忌・禁止】
メタクリレート系モノマー及びポリマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
本材は下記成分より構成される。

構成品	性状	成分
粉末	粉末	ポリエチルメタクリレート、BPO、着色材、その他
液	液体	メタクリル酸エステル、第三級アミン、その他
表面処理材	液体	ジクロロメタン、香料

原理：粉末と液を混和する。

【使用目的又は効果】
義歯床の粘膜面に使用する。

【使用方法等】
直接法の場合
1）適合状態のチェック
義歯床及び口腔内を清掃し、通法に従い義歯の適合試験を行います。その後粘膜調整材にて、粘膜調整を行います。
2）義歯床内面のレジン削除（床内面の新生面を出す）
接着性を高める為に、リライニングを行う義歯の内面及び辺縁部分を一層削除し、新生面を出します。もし異常な加圧部があれば、その部分は適正にトリミングを行ってください。
3）表面処理材（プライマー）の塗布
新生面を出し、洗浄・乾燥後の義歯床内面及び床辺縁部に、表面処理材（プライマー）を均一に塗布します。表面処理材（プライマー）の効果は塗布後約10分間です。
4）粉液の計量
粉計量カップ1目盛りに対して液用スポイト1目盛り。（標準粉液比は粉末1.5gに対して液1.0mLです）
5）粉液の混和
液、粉末の順で付属のシリコーンカップに入れ、スパチュラで気泡を巻き込まないよう静かに約10～15秒混和してください。
6）材料の盛り上げ
混和開始30秒～1分後（室温23℃前後の場合）にレジンを義歯床内面に盛り上げます。気泡の混入を少なくさせるには、均一に塗布するように盛り上げてください。
※粘度上昇や硬化時間は温度により影響を受け、高温になるほど粘度上昇は早く、硬化時間も早くなります。作業時間を長くする場合には、液を冷やしてお使いください。
7）口腔内への装着
混和開始1～1分30秒後、レジンを盛り上げた義歯を口腔内に装着し、適正な咬合位に保ち咬合させます。レジンの流れが少なくなったときに筋圧形成を行います。
8）床のトリミング（余剰部分のトリミング）
レジンの硬化前に口腔内から一度撤去し、余剰部分やアンダーカットの大きい部分をトリミングしてください。（脱着に問題のない場合には口腔内で余剰部分を取り除き、最終硬化まで保持することをおすすめします。）
9）再挿入と適合チェック
口腔内に再挿入し、咬合関係に変化のないことを確認します。正しく中心咬合させたまま最終硬化まで口腔内で保持します。
10）研磨、完成
完全にレジンが硬化した後、通法に従い研磨を行い完成です。
11）術後のケア
常に最良の状態で使用する為に最長でも半年に一度は検診を行い、粘膜状態、義歯への沈着物の付着状態を観察し、その診断結果により修正などを行ってください。デンチャープラークは劣化をはやめる可能性がありますので、義歯の清掃は確実にご指導ください。また、要介護高齢者においては特に、バイオフィルムを機械的に除去（デンチャープラークを除去）することで、誤嚥性肺炎等の呼吸器感染を防ぐことになります。
※使用後本材の性能を長時間持続させるために、下記の注意事項を守るように患者への指導を徹底してください。
・リライニング面は、流水下にて義歯用ブラシを使用し、十分に清掃を行ってください。
・煮沸消毒はしないでください。

間接法の場合
i）リライニングジグによる方法
1）適合状態のチェック
義歯床及び口腔内を清掃し、通法に従い義歯の適合試験を行います。その後粘膜調整材にて、粘膜調整を行います。
2）作業用模型の製作
ボクシング後、義歯床の印象面に石膏を注入して模型を製作してください。
3）リライニングジグへの付着
リライニングジグの下部に石膏を盛り、その上に義歯を置いて咬合面コアの採得を行ってください。ジグの上部を組み合わせて、模型の基底面に石膏を盛り、ジグの上部に付着してください。ジグを分離し、義歯床粘膜面の印象材を除去してください。
4）リリーフ
フラビーガムや口蓋隆起などの骨隆起は、錫箔やシートワックスを貼布してリリーフしてください。
5）分離材の塗布
ジグの上部の模型にレジン分離材を塗布してください。
6）義歯床内面のレジン削除（床内面の新生面を出す）
接着性を高める為に、リライニングを行う義歯の内面及び辺縁部分を一層削除し、新生面を出します。もし異常な加圧部があれば、その部分は適正にトリミングを行ってください。
7）表面処理材（プライマー）の塗布
新生面を出し、洗浄・乾燥後の義歯床内面及び床辺縁部に、表面処理材（プライマー）を均一に塗布し乾燥させます。表面処理材（プライマー）の効果は塗布後約10分間です。
8）粉液の計量
粉計量カップ1目盛りに対して液用スポイト1目盛り。（標準粉液比は粉末1.5ｇに対して液1.0mLです）
9）粉液の混和
液、粉末の順で付属のシリコーンカップに入れ、スパチュラで気泡を巻き込まないよう静かに約10～15秒混和してください。
10）材料の盛り上げ
混和開始30秒～1分後（室温23℃前後の場合）にレジンを義歯床内面に盛り上げます。気泡の混入を少なくさせるには、均一に塗布するように盛り上げてください。
※粘度上昇や硬化時間は温度により影響を受け、高温になるほど粘度上昇は早く、硬化時間も早くなります。作業時間を長くする場合には、液を冷やしてお使いください。
11）ジグへの装着とトリミング
混和開始1～1分30秒後、ジグの上部を下部に組み合わせて固定し、余剰レジンを除去してください。
12）床のトリミング（余剰部分のトリミング）
レジンの硬化前にジグから一度撤去し、余剰部分やアンダーカットの大きい部分をトリミングしてください。
13）研磨、完成
完全にレジンが硬化した後、形態修正とリリーフすべき部位の調整を行い、通法に従い研磨してください。
14）術後のケア
直接法の11）と同様に行ってください。

ii）フラスク埋没による方法
1）適合状態のチェック
義歯床及び口腔内を清掃し、通法に従い義歯の適合試験を行います。その後粘膜調整材にて、粘膜調整を行います。
2）作業用模型の製作
i）リライニングジグによる方法の2）と同様に行ってください。

3）床辺縁の修正
床縁部の余剰の印象材を除去し、ワックスにて修正してください。
4）埋没
義歯床研磨面に石膏分離材を塗布後、フラスクに埋没してください。フラスクを分離し、義歯床粘膜面の印象材を除去する。
5）リリーフ
フラビーガムや口蓋隆起などの骨隆起は、錫箔やシートワックスを貼布してリリーフしてください。
6）分離材の塗布
模型にレジン分離材を塗布してください。
7）表面処理材（プライマー）の塗布
新生面を出し、洗浄・乾燥後の義歯床内面及び床辺縁部に、表面処理材（プライマー）を均一に塗布し乾燥させます。表面処理材（プライマー）の効果は塗布後約10分間です。
8）粉液の計量
粉計量カップ1目盛りに対して液用スポイト1目盛り。（標準粉液比は粉末1.5ｇに対して液1.0mLです）
9）粉液の混和
液、粉末の順で付属のシリコーンカップに入れ、スパチュラで気泡を巻き込まないよう静かに約10～15秒混和してください。
１０）材料の盛り上げ
混和開始30秒～1分後（室温23℃前後の場合）にレジンを義歯床内面に盛り上げます。気泡の混入を少なくさせるには、均一に塗布するように盛り上げてください。
※粘度上昇や硬化時間は温度により影響を受け、高温になるほど粘度上昇は早く、硬化時間も早くなります。作業時間を長くする場合には、液を冷やしてお使いください。
１１）トリミング
混和開始1～1分30秒後、上下フラスクを合わせて固定し、余剰レジンを除去してください。
１２）研磨、完成
完全にレジンが硬化した後、形態修正とリリーフすべき部位の調整や咬合器に再装着して咬合調整などを行い、通法に従い研磨してください。
１３）術後のケア
直接法の１１）と同様に行ってください。

［使用方法に関連する使用上の注意］
1）本材は、採取後速やかに使用し、容器はすぐに密栓すること。
2）表面処理材（プライマー）を塗布する前の義歯の洗浄・乾燥が不十分だと床から剥離する場合がある為、十分乾燥させること。

【使用上の注意】
1）使用注意
①本材が手指又は器具に付着した場合には、直ちにアルコールで拭き取ること。
②本材の義歯床からの除去作業の際には、保護めがね、手袋などを使用し、切削物の飛散又は付着に注意すること。
③本材は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床上などにこぼした場合には、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。
④本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
⑤他のレジン粉末、液と混用しないこと。
2）重要な基本的注意
①本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
②本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。また、本材の使用により過敏症状を起こした場合には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
③本材は、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着した場合には、すぐにアルコールなどで拭った後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
④口腔内に戻したときに刺激を感じた場合には、直ちに撤去し数分間ぬるま湯につける等して十分乾燥すること。
3）不具合・有害事象
本材の使用に伴い、発赤、びらん、水疱、浮腫などの過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】
［保管方法］
・本材は、開封前は冷暗所に保管すること。開封後は、直射日光を避け、室温で保管すること。
・保管場所には、消火器具を備えること。
・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
［使用期限］
本体に記載の使用期限までに使用すること。
〔記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。〕
記載方法：⌛0000－00は
使用期限 0000年00月を示す

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元：株式会社ニッシン
住所　　：〒621-0001
　　：京都府亀岡市旭町樋ノ口88
ホームページ：www.nissin-dental.jp